

平成 14 年 9 月 10 日

ナショナルバイオリソースプロジェクト  
実施中核機関 研究代表者 御中

文部科学省研究振興局  
ライフサイエンス課

## ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBR)におけるゲノム解析等の実施について

本NBRプロジェクトについて、各研究代表者の皆様方におかれては、着実に事業を実施していただいているものと思います。

ところで、本プロジェクトの募集要項において、「BAC ライブラリーや cDNA ライブラリー及びそれらのシーケンス情報については、技術的に能力が高いいくつかの機関・組織に集中して実施すること」とし、当初の実施機関選定時においては、各機関における「ゲノム解析、BAC ライブラリー作成」(以下、「ゲノム解析等」と言う。)に関連する経費については、措置しておりませんでした。

については今次、当該ゲノム解析等について、以下の要領にて募集いたします。

## ゲノム解析等事業の対象生物種選定の考え方について

### 1. ゲノム解析等実施の基本方針

ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBR)の一環として、プロジェクトの対象とされた生物種(以下「対象生物種」と言う。)のうち、以下の条件を満たすものについて、今年度、ゲノム解析、BAC ライブラリーの作成を実施するものとする。

#### 対象生物種選定の条件

ゲノムサイズが膨大ではなく、平成14年度内(約半年)において、一定の成果を得ることが可能であること、又は、既に別途の予算でゲノム解析を実施しており、本事業により、その加速が可能であること。

他国に先駆けて解析を実施するなど、我が国発の成果として発信できること。

得られた成果が今後の研究開発において、特に有用であると考えられること。

解析用サンプルが既にある程度そろっており、直ちに解析に着手できること。

解析データは、情報センターを通じて速やかに公開できること。

(解析量の目安 全量ドラフトシーケンスを実施した場合で、200~250MB程度)

### 2. 選定方法

有識者より構成されるナショナルバイオリソースプロジェクト選考委員会における検討

を踏まえ、文部科学省において対象生物種を選定する。

### 3. 解析実施機関

シーケンス情報・ゲノム解析について、技術的に解析能力が高い、国立遺伝学研究所または理化学研究所ゲノム科学総合研究センターにおいて集中的に実施することを予定。

### 4. 今後のスケジュール

募 集：9月10日(火)～ 20日(金)

選 考：9月中

事業開始：10月～(平成15年3月まで)

